



羅臼町先生方の研修会 「コーディネーショントレーニング」

新年度が始まりました！！

4月6日(木)に全小中学校、高校で始業式がありその後、午前中に羅臼小学校・春松小学校、午後羅臼中学校・春松中学校・羅臼高校の入学式がありました。10日(月)には、羅臼幼稚園・春松幼稚園の入園式が行われました。
学年が一つ上がった喜びと、新しく1年生となる期待とちょっぴり不安の中での入学式ではなかったかと思えます。
また、新しい先生方との出会いも新鮮な気持ちで新学期を迎えられたのではないかと思います。
これから1年間、しっかりと学び学年にふさわしい力をつけてほしいと願っています。



「羅臼小学校入学式」



「春松小学校入学式」
(各校ブログより)

今度は自分で借りられるよ！

羅臼小学校、春松小学校の新1年生を対象に、図書館バス「かもめ号」利用のためのガイダンスが行われました。
4月18日(火)は、春松小学校で行われました。まず始めに「ぐりとぐらのえほんぼけっと」の方たちの楽しい絵本の読み聞かせがありました。その後、司書の菊地さんからかもめ号での本の借り方についてお話がありました。帰りには、実際にかもめ号でたくさん本を借りていました。
21日(金)には羅臼小学校で「こぐまちゃんサークル」の方たちによる絵本の読み聞かせが、行われました。



春松小学校での様子



羅臼小学校での様子



4月28日(金)に春松小学校を会場に羅臼町の先生方を対象にした「コーディネーショントレーニング」の研修会が開催されました。

コーディネーショントレーニングは、平成24年より羅臼小学校で試行実施され、効果が認められたことからその後、幼稚園小学校の全園児児童を対象に行われてきました。

コーディネーショントレーニングを行うねらいは
近年、子供たちの体力・運動能力の低下だけでなく精神面やコミュニケーション面での問題が指摘されていることから、子供たちの多様な運動能力、活動意欲を引き出し、自尊感情や自己有用感を高め、創造性や社会性への効果が大きいと期待できる「コーディネーショントレーニング」を町内幼稚園・小学校の教育活動の一環として導入し、次代を担うにふさわしい心身ともにたくましく、しなやかな感性と知性を持った子どもを育てることをねらいとする。

と、教育委員会では押さえています。
毎年のように教員に対する外部指導者による研修会を実施していますが、今年度は実際に子供たちにどのように指導するかをみてもらいその後、先生方に対する研修をするプログラムで行いました。

普段は、スポーツクラブらいたずらの指導者がそれぞれの幼稚園や学校に出向き指導をしていますが、日常的に先生方も積極的に研修したことを取り入れて指導していただけることを願っています。

- 《参加者の感想から》
- 体の使い方を向上させるための、様々な方法を学ぶことができ、有意義な研修となりました。
 - 実践的な研修、体育の授業で活用できそうな実技の研修で良かったです。子供たちが楽しく取り組めるように体育の授業で取り入れてみたいです。
 - 子どもへの指導・アドバイスの時に、感覚を刺激するような声かけをすることが大切だと思いました。また、失敗してもいいんだ、という意識がどれだけ子供たちを安心させるかだと思います。トライ＆エラーで様々な経験をさせていきたいと思っています。



子供たちへの指導の様子



先生方への指導の様子

羅臼町幼小中高一貫教育研究会全体会

羅臼町幼小中高一貫教育研究会の全体会が4月27日(木)に羅臼小学校で行われました。
幼稚園から高校までのすべての先生方が集まり話し合いが行われました。

全体会では、まず町外から羅臼町に来られた先生方の紹介がありその後、昨年度の活動報告や今年度の活動計画などが話し合われました。

また今年度の推進委員長に羅臼高校の升田重樹校長先生、事務局長は羅臼高校島村真幸教頭先生が担当することになりました。



羅臼中学校・浜松市立北部中学校（静岡県） 修学旅行で交流

5月10日（水）羅臼町に修学旅行で訪れた静岡県浜松市立北部中学校（3年生 145名）と羅臼中学校（3年生 30名）の生徒の交流学習が公民館で行われました。北部中学校との交流は2013年度から毎年行われており今年度で5回目となります。

北部中学校のグループの中に羅臼中学校の生徒が1～2名加わり一つのグループをつくり交流しました。

交流会では、進行役の生徒から、「イランカラブテ」とアイヌ語であいさつをし、全員で、「イランカラブテ」とあいさつをしました。初めに北部中学校のご当地クイズから行われました。富士山の標高を答える問題などが出されました。答えをグループごとに相談し回答しました。正解が発表されるごとに歓声が上がっていました。

羅臼中学校のご当地クイズでは、北海道出身の芸能人を当てるクイズや北海道にしかない道路標識を当てるクイズなどが出されました。大変盛り上がったご当地クイズでした。

楽しいご当地クイズの後は、北部中学校の合唱「浜松市歌」が披露されました。150人で歌う合唱は大変迫力がありました。

次に、羅中の生徒も入り、「コスモス」という歌を合唱しました。それぞれ練習をしてきて、この日一回で合わせ、これもすてきな合唱でした。

最後に、全員で記念写真を撮り交流を終えました。

北部中学校の生徒は、その後北方領土学習として、元島民で語り部である、「高岡唯一さん」からお話を聞きました。

北部中学校のみなさんは、羅臼町で一泊し知床羅臼ビジターセンターの見学やホエールウォッチングを体験しました。



合唱の様子



高岡さんのお話



春松幼稚園 1日消防士

4月25日（火）に羅臼消防署において春松幼稚園の年長児が1日消防士の体験を行いました。

これは春松幼稚園の「春小幼年消防クラブ（通称：ひけしっこ）」の活動の一環として行いました。この体験を通じて、「防火の意識を高める」ことをねらいとして行っています。

1日消防士の委嘱状をもらった後、早速消防服を着せてもらい、はしご車搭乗、放水体験、マスコットキャラクターとの記念撮影を行い、火遊びをしないことを誓いました。

園児たちは緊張した面持ちで、それぞれの体験に望んでいました。



はしご車搭乗体験



放水体験



羅臼幼稚園

はるもさがろう！



5月9日（火）とても天気の良い大変穏やかな日に、羅臼幼稚園の年長組（コスモス・スミレ）さんがビジターセンター裏の間欠泉前の広場で、「はるもさがろう」の取り組みをしました。

今回の先生は、教育委員会の自然環境教育主幹の金澤教育主幹です。園児たちは、広場で咲いている花をとったり、虫を見つたりしました。暖かい日と

は言っても、羅臼はまだ春の初め、そんなに多くの虫はいませんでした。それでも数匹の虫を見つけることができました。見つけた虫やクモは、金澤先生が透明な瓶に入れてみんなに見せてくれました。クモと昆虫の違いなど実際の虫をみながら考えたり、教えてもらったりしていました。



新学習指導要領

学習指導要領は、学校で教えるべきこと（教育課程の大綱的基準）を示したものです。

学習指導要領は、ほぼ10年ごとに改訂されています。

3月31日に新しい学習指導要領が公示されました。この新指導要領が全面実施されるのは、幼稚園が平成30年度、小学校が30年、31年の2年間の移行期間の後平成32年度から、中学校は、32年度まで移行期間で33年度から全面実施されます。高校は、31年度から3年間の移行期間の後平成34年度より実施されます。

※学習指導要領改訂のポイント

◎改訂の基本的な考え方

- 教育基本法、学校教育法などを踏まえ、これまでの我が国の学校教育の実践や蓄積を活かし、子供たちが未来社会を切り開くための資質・能力を一層確実に育成。その際子供たちに求められる資質能力とは何かを社会と共有し、連携する「社会に開かれた教育課程」を重視。

（改定のポイントについては、少しずつ連載していきます）